

# ワーク・ライフ・バランスの向上を通じた労働者・夫婦・親子の健康支援に関するプログラム開発研究：パイロット・スタディ（多施設共同研究）にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野では、(ワーク・ライフ・バランスの向上を通じた労働者・夫婦・親子の健康支援に関するプログラム開発研究：パイロット・スタディ（多施設共同研究）)を実施しています。

## 【研究課題】

ワーク・ライフ・バランスの向上を通じた労働者・夫婦・親子の健康支援に関するプログラム開発研究：パイロット・スタディ（多施設共同研究）  
承認番号：11174-(1)

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野  
研究責任者 川上憲人・精神保健学分野・教授  
担当業務 データ収集・データ集計・データ解析

## 【共同研究機関】

広島国際大学心理学部心理学科  
東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース  
東京医科歯科大学医学部国際健康推進医学分野  
名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻  
椙山女学園大学人間関係学部  
労働安全衛生総合研究所作業条件適応研究グループ  
大正大学人間学部  
東京大学運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座  
東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野  
東京医科歯科大学学生支援・保健管理機構 学生・女性支援センター男女協働・キャリア支援部  
東京大学大学院医学系研究科家族看護学教室  
北里大学一般教育部人間科学教育センター（※主任研究機関：2017年4月1日より）

担当業務：プログラム作成、匿名化されたデータの統計解析

## 【研究期間】

2016年7月17日～2021年7月17日（承認後5年間）

### 【対象となる方】

2016年8月26日～2017年3月22日の間に、愛知県あるいは静岡県における2つの事業所にて、未就学児をもつ親を対象としたワーク・ライフ・バランス向上プログラムを受講した方で、調査票に回答した方。

### 【研究の意義】

わが国のワーク・ライフ・バランス対策は、少子化対策、男女共同参画、キャリア開発、育児支援の視点からは推進されているものの、健康支援の視点からの取り組みはいまだ着手されておらず、科学的根拠にもとづいた介入プログラムも存在していません。健康支援の視点からワーク・ライフ・バランスに関する介入研究のプログラムを開発することで、労働者のワーク・ライフ・バランスの向上のみでなく、健康増進の上で実践的な方策の開発につながることを期待されます。

### 【研究の目的】

本研究の目的は、乳幼児期の子ども(0～6歳児、未就学児)を持つ共働き夫婦を対象とし、新規に開発したワーク・ライフ・バランスに注目した健康支援プログラムの有効性を明らかにすることです。プログラムは、セルフマネジメント、夫婦マネジメント、親子マネジメントの3つを組み合わせ構成されます。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。調査の手順は以下の通りです。

1. 調査協力の承諾を得た企業、あるいは病院において、本研究のプログラム受講者を募ります。
2. 研究の参加に同意した対象者は、調査同意書に署名後、事前質問紙(本人、子ども)に回答する。また、パートナーにも回答を依頼し、初回のプログラム時に持参してもらいます。
3. 対象者にプログラム(1回40-45分、全5-7回、各職場にて昼休憩時間に実施)を受講してもらいます。
4. プログラムの最終回後、事後質問紙に(本人、子ども)に回答を依頼する。パートナーにも回答を依頼し、職場の担当者に提出してもらいます。なお、事後質問紙には事前質問紙と同一のIDを付与します。
5. 提出された質問紙を郵送あるいは直接受け取り、同意書をシュレッターで廃棄し、連結不可能匿名化とします。
6. 連結不可能匿名化された質問紙は、調査会社(株式会社アクセライト)にデータ入力を依頼し、データの授受は、パスワードのかかった電子ファイルで行います。また、データ解析のため、共同研究機関(広島国際大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、相山女学園大学、労働安全衛生総合研究所、大正大学、北里大学)にパスワードのかかった電子ファイルが送られます。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

あなたの情報・データ等は、共同研究機関（広島国際大学、東京医科歯科大学、名古屋大学、椋山女学園大学、労働安全衛生総合研究所、大正大学、北里大学）に送られ解析・保存されますが、送付前には個人が特定できないように匿名化されます。データは鍵のかかるロッカー等で厳重に保管します。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)「ワーク・ライフ・バランスの向上を通じた労働者・夫婦・親子の健康支援に関する研究(研究代表者:島津明人)」(研究課題番号:15H01832)から支出されています。また、本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、聖隷三方原病院の参加者には、質問紙1通あたり1000円のQUOカードが提供されません。

### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

担当者：島津明人

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：ashimazu-tky@umin.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号【ワーク・ライフ・バランスの向上を通じた労働者・夫婦・親子の健康支援に関するプログラム開発研究：パイロット・スタディ（多施設共同研究）承認番号：11174-(1)】をお知らせください。